

「得徳」品性の高い心」

神 示

「教え」に気付きを得て

「心」の姿を見詰めて「生きる」人は皆

「運命」の力に守られ 導かれ

「夢」ある人生を歩んでゆける

得徳の心に「生きる」人の姿が ここにある

信者に問う

「教え」に触れる心はいかに――

知識 経験は 「道」を守る心に生きるもの

なれど 知識と努力を頼って生きる人が多く

「実体」に悩む

「教え」に気付きを深め

社会の姿を見詰める心はいかに――

社会は 正しい関わりがあればこそ発展するもの

なれど 分をわきまえず

立場を超えて生きる人が多く

「実体」に泣く

「教え」が人の心を正し 「正道」へ心を導く

得徳――

「道」を守る心が「希望の光」を通し

神魂に心守られ 導かれ

悔いなき時を歩み抜ける

品性の高さが「人生」を彩り

良き因を「心の道」に残す力と成る

神から月々教えを学び、実践に努めていると、迎える一年の実りの時には、品性の高い人格が磨かれていきます。それが、毎年積み重ねる得徳です。そして、光寿信者参拝時には、神魂にご報告とともに、感謝の思いを届けるのです。

繰り返し教えに触れる中から気付きを深め、自らの心を見詰めながら、どう生きるべきか、正しい生き方を求め続けることが大切です。そこに、持って生まれた世に役立つ運命と重なり、多くの人々のためにできることをしようと、夢のある生き生きした毎日が送れます。

そのような人は、与えられた力を生かし、さまざまな場面で社会に貢献して、人生に徳を積んでいきます。年々品性が高まり、確実に得徳がかないます。

自分自身を振り返ってみると、どうでしょうか。教えを通して多くの気付きを得て、実践を心掛けていますでしょうか。

社会にあふれる知識や、人々が重ねてきた経験は、万人に当てはまるものとは限りません。それは、道理にかなう使い

方をしてこそ、生かせるのです。

しかし、知識や努力が全てと考える人も多く、利己的になったり、人を攻撃したり、道を欠く例も無数にあります。それでは、実体に流されてしまいます。

教えを身に付け、社会を見極める目を養えているでしょうか。情報に惑わされず、持てる力は生かしきれませんか。

この世は、互いの良さを生かし合う関係があつて、発展していくように仕組みられています。ところが、持ち前の良さ、運命の力に気付かず、分、器に合わない努力をし、後悔する人も多いのです。

教えに沿って生きれば、自身の力を発揮できるような、周りとの正しい関わりが持ててくるものです。そして、運命に重なる人生、正道が歩めます。

道を守って暮らすところに、希望の光が通り、神魂に守られ、導かれた、安泰な毎日が送れます。道を守る品性の高さが、得徳をかなえ、人生を悔いのないものとし、子孫へと続く心の道により良いものを残していくのです。

令和3年9月23日 神魂誕生記念祭

「得徳えとく 品性の高い心」

神 示

神魂しんこんに「心こころ」預け

「開運かいうん」がかなう 今今日の時代の価値意義が

分かっていようか

社会が調和するため

今今日 世界が大きく変わらんとしている真実が

見えるかや

世界にあふれる知識 情報に 「真理」は誠に少ない

真理なき知識に心こころ振り回されて

人類は悩み 迷いを深めている

信者に申す

心素直に「教え」を学び 心こころに生かしてごらん

知識 情報の中にも あるべき道正道が見えてくる

よって 「心」迷わず

今なすべきこと真実に思いは向かう

運命うんめいに心導かれ

全ての出会いが「人生」の支えと返る

「運命」に重なる人生を歩めるなれば

変化の全てが味方する

神真使が 神魂しんこんの時代を迎え

今今日人類に求める「道」は一つ

「教え」に悟りを深め

「希望の光みち」を通すこと

「正道」をゆく人生は

得徳えとくの心こころを身に修め

全ての出会いを調和させる

代神の時代、直使の時代があつて、今の神魂の時代があります。それは、神魂に心を預けて生きれば、開運がかなう時代です。開運とは、与えられた運命のまま、仕合せな人生が歩めることです。その価値をつかまなくてはいけません。また、今日の社会は、世界の調和を図るため、時代の運命の力が働き、大きく変わる時にあります。そうした動きを知ることでもあります。

現代社会は、知識、情報があふれています。しかし、そこには、虚実が入り混じっています。理にかなうもの、普遍のものなどが、実に少ないのが現実です。ところが、知識ばかりに頼り、迷いに陥り、行き詰まる人もたくさんいます。こうした現実を知っていれば、流れにのまれることは防げるでしょう。

そのためにも、神の教えを、先入観を持たず、素直に学び、受け入れて、自身の心の動きに生かすのです。すると、さまざまな知識、情報の中にも、正しい生き方、理にかなうものが見えてきます。

知識の生かし方が分かります。

そのような人は、迷いもなく、自身のすべき事柄に思いが向けられます。自ら関わるべきこと、こだわらなくてはいけないことと、こだわらず、受け流すべきことなどと、的確に区分けできます。正しい信念で生きられるのです。

そこに、運命に重なる毎日が送れ、得られたものものの出会い、縁が、人生に有効に働きます。誰とも調和し、多くの人から信頼され、愛されます。

どれほど環境が変わっても、運命に重なる生き方をしていけば、その中で良さが発揮できます。変化さえ、「そのおかげで：」と味方になるでしょう。

神魂の時代の今、神が各人に願われるのは、神示に沿って生き、希望の光みちを曲げずに歩むことです。神、仏、人の道を守って暮らせば、周りに良い影響を及ぼし、必ず得徳が自分のものとなります。

開運がかなう神魂の時代、そこには調和の取れた生き方が重要です。品性の高い心こそ、人生を磨いていくのです。